

節目の年・飛躍の年の幕開け 新春の集い開かれる



1月13日、恒例の東京・日比谷・松本楼にて、全国理事会を兼ねた「新春の集い」が18名の参加者のもと、開催されました。

ほんの少しのアルコールと、いつもよりちよっと豪華なコース料理をいただきながら、日民協設立の礎となった国民的大運動、日米安保条約改定から半世紀を迎える節目の年でもある、2010年の幕開けにふさわしい集いとなりました。

久保田理事長からは、昨年6月に就任時の目標をいよいよ実行に移すべく、組織の強化とともに、歴史的に意味ある協会創立50年を迎えたいとの決意を述べられました。

当面の課題を中心とした議題が準備されました。

①NPT再検討会議への取り組み。②日米安保50年シンポジウムの準備状況について。③2011年の協会創立50周年記念行事について。④当面の「法と民主主義」企画内容について。⑤年末カンパの集約について。⑥新しい年の決意表明。の6点について、海部事務局長の司会で進められました。

①のNPT再検討会議には、すでに、法律家団体以外の組織から参加を表明している理事も多く、反核法律家協会を中心とした取り組みに積極的に協力して行くことが確認されました。

②の**日米安保のシンポジウムへの取り組み**は、現在まで数回の相談会がもたれ、すでに、右枠のような概要が決められつつあることが、報告されました。

③の協会創立50周年の記念行事については、会員・読者の希望や要求に基づき意義あるものにした

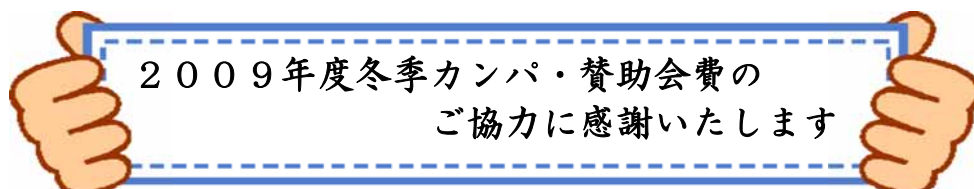
- ・開催日 2010年6月26日(土)
 午前10時～午後6時
- ・会場 午前：明治大学駿河台キャンパス
 リバティタワー・ホール
 午後：上記リバティタワー内4教室
- ・内容 ■全体シンポ
 - ・日米安保と東アジアの歴史
 - ・日米安保と経済
 - ・日米安保の法的検討
 ■分科会
 - ・国際的視点から見た日米安保
 - ・米軍再編の動向と平和構築の展望
 - ・裁判から見える日米安保
 - ・日米安保と歴史認識

い。そのために、準備のためのプロジェクトチームを近々に立ち上げて行くことが確認されました。

④については、4月号までの特集企画の内容とともに、5月には憲法特集を、6月には日米安保の特集企画を準備したい旨、佐藤編集長より報告がありました。

⑤については、今回も多くの方々からご厚志がよせられ、年末の活動資金として活用させていただきました。(詳細は裏面)

そして、いよいよ⑥の新年の決意です。参加者全員から、混沌とした社会にあつて、しかし、少しずつ変化の兆しが見えている側面を前向きに受けとめながら、歴史を推し進める生き方が語られました。



2009年度冬季カンパ・賛助会費の ご協力に感謝いたします

夏・冬と年2回にわたるカンパ要請には、いつも多くの会員・読者・事務所からのご協力をいただき、心から感謝申し上げます。特に年末においては、出費の重なる時期にもかかわらず、ご厚志をお寄せいただき、協会運営に、大きな力となっております。改めて御礼申し上げます。

下記に、お名前を列記させていただき、御礼にかえさせていただきます。ありがとうございました。
(50音順、敬称略、2010年1月20日確認分まで)



インフォメーション



■憲法委員会■

東京大空襲訴訟一審判決の批判的分析 ——控訴審と立法的解決に向けての課題——

講師：北澤貞男 弁護士

日時◆1月28日(木)
午後5:30～8:00

場所◆日民協本部・3階会議室

※御参加いただける方は、資料を準備しますので、事前に本部事務局まで御連絡ください。

(T: 03-5367-5430 / F: 03-5367-5431)